

●国際ロータリーテーマ



SABAE ROTARY CLUB

●クラブ活動方針

2015.7-2016.6

塩梅よく

会長 小部 隆充
幹事 大橋 良史

●本日の例会

●R1第2650地区スローガン 『クラブに「個性」と「憧れ」を!』

点 鐘 12:30~
四つのテスト
ロータリーソング斉唱
会長の時間
幹事報告等

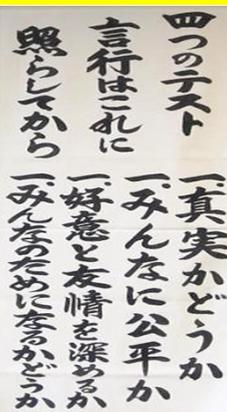
●第2743回 平成28年2月19日(金)

クラブフォーラム

テーマ「青少年奉仕」

▼第2742回例会報告 平成28年2月12日(金) ▼鯖江商工会館 3階中ホール 出席率 77.4%

四つのテスト



我等の生業

佐野 直美 ソングリーダー



大橋 良史 幹事

る。テーマは、「青少年奉仕」。

③第4例会(26日)は、国際奉仕夜間例会。本会館4階大ホールで、18時点鐘。国際交流座談会を開催する。現在、県内在住留学生は、11名。国籍は、インドネシア・ミャンマー・中国・タイ・韓国・カンボジアの6ヶ国。2月は、平和と紛争予防/紛争解決月間。世界平和について、楽しい雰囲気の中で語り合う時間になれば、幸いに思う。

④今月の家庭会合、テーマは設定せず、自由にロータリーについて意見交換して欲しい。

⑤事務局のコピー複合機が新しくなった。確認願いたい。

⑥掲示板の方に、福井水仙RCの講演会案内を掲示した。3月6日(日)に「発達障害のある人の輝くキャリアのために」の内容。興味、時間等のある方は、参加願いたい。

お客様の紹介と会長の時間



本日のお客様。鯖江・丹生消防組合消防本部、予防課主任、消防音楽隊副隊長、藤井修様(写真右)。後ほど、卓話願う。よろしく願いたい。

今日は、ピロリ菌について紹介する。正式には「ヘリコバクター・ピロリ」。胃の中

にすむ細菌で、1983年に発見された。胃炎、胃潰瘍(かいよう)、十二指腸潰瘍の原因になる。これ等は、ストレスが主因と見られてきたが、発見による研究で覆された。胃がんとも関係があるとみられている。

日本人の保菌者は、2人に1人といわれ、30代から急増し、50才以上では7割を超えると指摘されている。ただ、感染しても実際に潰瘍が発症するのは数%にとどまる。

欧米では早くから除菌療法が取り入れられてきたが、日本で保険適用になったのは2000年秋。抗生物質等の投与で約9割の人に効果がある。

即、発症するわけではないが、この中でも半分の方は、持っている事になる。



副幹事報告



嶋山 明朗 副幹事

次年度幹事の立場から、報告申し上げる。当クラブの一年の中で、一番大きな大事な催しに、ガバナー公式訪問がある。通例だと7月下旬に、公式訪問を迎え、会長幹事懇談会、クラブ協議会等の日程を過ごす。

先日、次年度ガバナーから、当クラブと鯖江北RCとの合同での、ガバナー公式訪問をしたい旨、要請があった。次年度と今年度の会長と幹事、理事会で相談。ガバナーからの要請という事もあり、次年度の同訪問については、鯖江北RCとの合同で訪問を受け入れることに決定しました。なお、訪問予定日は、8月5日(金)の意向を聞いている。正式決定後、速やかに案内する。以上、報告申し上げます。また、初めての合同訪問なので、皆様にアドバイス、確認、協力等、よろしく願いたい。

幹事報告

①2月6日のこどもエコクラブ活動交流会に、田村副会長等会員10名が参加。掲示板報告書にて、確認願いたい。

②来週第3例会(19日)は「クラブフォーラム」を開催す

ニコニコBOX報告

(敬称略・順不同)

- 1 小部 隆充
- 2 大橋 良史
- 2 野中 敏昭
- 3 窪田 健一
- 3 岡本 圭子
- 4 斎藤多久馬

- 1: 藤井様ようこそ。宜しくお願いします
- 2: 藤井様の卓話を楽しみに
- 3: 卓話に期待して
- 4: 早退、失礼します



卓話 藤井 修様

鯖江・丹生消防組合消防本部
予防課主任・消防音楽隊副隊長

テーマ「消防の広報活動の取り組みについて」



■火災は減少、救急車出動は増加

私たちの消防は、鯖江市と隣の越前町を管轄。平成27年は、火災が管内で25件、鯖江市で18件。残念ながら、火災の際、高齢者2名死亡。火災には、車のオーバーヒート、日野川の堤防火災等も含まれる。

救急車は、同 2,911件、2,127件の出動があった。以前に比べ、火災は建物等の耐火性が増し減少。逆に

救急車の利用は、高齢化社会の到来で、どんどん増えている。利用を少しでも減らすため、適正に利用してほしい。

例えば、お昼ご飯を食べて、急にお腹が痛くなった時や、福井の病院に入院の際、荷物を準備して頭が痛くなり、タクシー代わりに利用しようと待っていた人もいた。

逆に、鯖江の本町で利用する時に本署の2台が出払っていると、北中山か朝日分遣所から呼び寄せる。本来なら、ものの2分で来れるところが、7-8分時間を要してしまう。できる限り、119をしっかりと考えて通報してほしい。

しかし、救急は年々増えているのが現状。当管内でも高齢者の急病と交通事故の半数は、入院を要しない軽傷で搬送されている。全国でも同割合で、同じく呼び掛けている。

火災、救急の他、レスキュー救助があり、55件(同41件)。基本、緊急出動に対応している。

■火災予防運動週間での呼びかけ

消防署ではあらゆる機会を見て、呼びかけている。代表的な呼びかけの期間として、火災予防運動週間がある。

秋の火災予防運動週間は、11月9～15日まで。全国一斉に行われる。春の火災予防運動週間は、全国的に3月1～7日。春の訪れ具合で、福井県は、3月20～26日まで。

地道な活動だが、職員が地区を決めて、一般家庭の防火のため訪問している。これだけでも、訪問されたことを後で思い出す。今は、住宅用火災報知機の設置確認が、大きな比重を占めている。個人的には、高齢者への声掛けを大事に活動している。あと、日曜日に人の集まる場所で広報活動や呼びかけをする。

■防火協会のバックアップ

それらにタイアップしてもらえるのに、鯖江市防火協会という団体があり、消防署で事務局を担っている。昭和42年設立され、49年目。皆さんが勤めている事業所が、会費を納入。その会費で成り立っている会。加えて、市民からも、1世帯当たり年間50円。活動費に充てている。灯油やガソリン等の危険物を多く使う工場は、会費が多い。火災予防週間の時は、全面的なバックアップがあり、色々な広報活動が行える。

同協会が主催する行事は、隔年実施の鯖江市消火技術大会。今は、各町内の自主防災組織の方にも出場を呼び掛け、各事業所の自衛消防隊消火班の方も出場。水バケツで火を消す時間や、屋内や屋外の消火栓設備の操法を競う。自主防災組織の方は、消火器の取り扱い訓練で、大会に参加。

■消火技術大会と防災フェア

そういった活動をする鯖江市消火技術大会と、子共から大人まで、色々なことを体験して防災の大切さや救急の手法を学ぶ、防災フェアを隔年で実施している。



昨年は、鯖江市消火技術大会を9月6日(土)に市総合体育館前駐車場で行った。秋の火災予防運動時には、誠市、ご縁市の際、防火、防災を呼び掛けた。消防署員だけではできないことを防火協会の協力を得て、実施できる。

■予防と消防音楽隊

私は、予防課に勤務。どちらかという、嫌われる仕事をしている。火災から守る仕事をするために、事業所に訪問。防火管理者や火事になった際の従業員の動きを確認する。火災から守るためにやらねばならない。店を回り、消火器の設置確認、何千万円も費用がかかるスプリンクラーの設置指導も、予防課の仕事。しかし、子供や高齢者に楽しく呼びかけて、覚えてもらうのも仕事。

また、消防署には、音楽隊がある。楽しい。人が変わったように参加する。最初から、音楽隊に入りたくて入署する職員はいない。入署後に、音楽隊がある事を知る。素人なので、苦労して楽譜を読んで演奏する。

以前は、出演依頼があれば、呼ばれた時に行き、決められた演奏をして帰ってくる。これが、これまでの取り組み。見栄えはスッキリし、団体で参加。保育士によるカラーガード隊もいて、祭りの際には華やかになる。しかし、本来の私たちの活動目的は、私たちを見て、何かを学んで、知りえてもらわなければ、何の効果もない。

最近の出演では、演奏は下手だが、色々な消防の呼びかけをするために、30分程の時間をかける。5-6曲演奏もするが、救急車やAEDの取り扱いについて寸劇をやって、皆に理解してもらおう。なぜか、隊員は楽器演奏より喜んで寸劇を一生懸命やる。演奏には拍手、救急法の寸劇には納得もしてくれ、笑いも出る。場の雰囲気や和み、その後演奏する。非常にやりやすい。最近では、そういう活動に変えている。中に、堅い火災予防の話を混ぜ、演奏活動する。

■57年目の消防音楽隊

消防音楽隊の歴史は古い。昭和34年に発足、57年目の活動中。現在、25名で編成。2年前、サンドーム福井で、発足55周年記念演奏会を実施。市民の期待に少しでも応えられるよう、楽器の演奏ができるよう、努力している。

全国的に、色々な市町村で消防音楽隊の必要性が問われ、無くなっている音楽隊も非常に多い。しかし、鯖江市では色々な方の理解を得て、57年目の活動を迎えられる。とても感謝している。期待と要望に応えたい。

消防の出初式や消防大会は当然だが、年間を通して、つつじまつり、うるしの里まつり、焼き鳥合衆国、6月に一斉に行われる地区の体育会開会式と祭り等。最近では、火曜と金曜の午前中の練習時間に、高齢者福祉施設、保育所、幼稚園を回って、出前演奏している。消防は、色々なことを呼び掛けている。今後も温かい目で見守ってほしい。



福井県下会長・幹事会 報告

第153回福井県下会長・幹事会が、2月13日(土)敦賀市で開催され、小部会長と大橋幹事が参加(写真右)。

来賓の林田恒正ガバナー補佐が挨拶後、刀根ガバナーエレクトのメッセージで、次年度のR Iのテーマ「人類に奉仕するロータリー」を紹介。

県下19クラブの会長が、下期事業や会員増強等について発表。地区米山奨学委員会が、状況報告し閉会しました。

